

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果

羽島市立堀津小学校

◆全国学力・学習状況調査とは

文部科学省が毎年4月に、全国の6年生と中学3年生を対象に実施している学力調査のことです。国語と算数における学習状況を把握し、授業改善に生かすことを目的としています。

このたび、今年度の調査結果がまとまりましたので、堀津小学校の傾向についてお知らせします。今回の学力調査から、本校の6年生児童は概ね基礎的な学力は身に付いていることが明らかとなりました。しかし、課題となる内容もありましたので、改善点等も含めてお知らせいたします。また、生活習慣や学習環境に関する意識調査の結果もまとめましたので、これからの生活にお役立ててください。

◆学力に関する調査の結果から

1 国語

【身に付いている内容】

- ・全体的に、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」（文章の中で正しく敬語を使ったり、漢字を使ったりすること）についての学習内容は理解し、学力を身に付けています。
- ・「話すこと・聞くこと」に関しては、必要なことを質問しながら聞き、話し手の伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができます。
- ・「読むこと」に関しては、文章全体を読み、中心となる語や文を見つけて要約することができます。
- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、話し言葉と書き言葉の違い、言葉の働きについての理解し、文の中で正しく漢字を使って書くことができます。

【課題のある内容】

- ・「書くこと」に関しては、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように工夫して書き表すことに課題が見られます。
- 国語の授業では、決められた文字数で書く力、条件を満たして書く力、キーワードを使って書く力を身に付けることができるよう指導していきます。さらに、図や表が表していることを読み取る力を、算数や理科、社会などの学習でも大切にしていきます。また、継続的に読書の時間を位置付け、語彙を増やし、読解力がつくように指導していきます。

2 算数

【身に付いている内容】

- ・「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」のどの領域においても学習内容は身に付いています。
- ・「変化と関係」の領域では、数量について表から変化の特徴を読み取り、必要な数を求めたり、比例の関係を正しく理解し、問題を解く力が身に付いています。

【課題のある内容】

- ・「図形」に関することでは、多角形の意味や性質の理解、三角形の面積の大きさを判断する問題が正しく解答できていない割合が多く、図形の学習内容の理解において課題が見られます。
- 正しく計算したり、公式を利用して問題を解いたりする学習だけでなく、考え方や答えを導き出した過程が自分なりに説明できるような学習を大切にしていきます。
- 具体的に数値が示されていない場面において、問題を解決する際に必要な情報を主体的に見出したり、適当な数値をあてはめたりして考える力を育てることに力を入れていきます。
- 全体として、算数的活動を多く取り入れ、場面を解釈して関係を捉え、問題の解決方法を式や言葉を用いて説明できることを大切にしていきます。

◆生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査の結果から

【よくできている・よく思うの割合が全国や岐阜県の割合を上回った設問】

○自分にかかわること

- ・朝食を毎日食べている。
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- ・毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- ・自分にはよいところがある。

○学校生活・学習にかかわること

- ・学校に行くのは楽しい。
- ・友達関係に満足している。
- ・普通の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。
- ・いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う。
- ・人が困ったときに進んで助けている。
- ・困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
- ・自分と違う考えについて考えるのは楽しい。
- ・学級の友達と話し合う活動の中で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
- ・授業でパソコン・タブレットなどの ICT 機器をよく使う。

【よくできている・できているの割合が全国や岐阜県の割合を下回った中で課題だと考えられる設問】

○自分のかかわること

- ・将来の夢や目標をもっている。
- ・家で自分で計画を立てて勉強をしている。
- ・新聞を読んでいる。
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。

【今後に向けて】

保護者の方のおかげで、家庭で規則正しく健康的な生活をしている児童が多いです。

自分のよさを認め、努力できる児童が多いです。学級の仲間との学習や活動を通して、自分の考えを伝えたり、問題を解決しようとしたりして、努力していることも分かりました。また、小規模校で他学年と関わる機会が多くあり、優しい気持ちをもって仲間に接している児童も多いです。今後は、志授業やふるさと学習などで様々な人と関わり、羽島や堀津についてよさを学んだり、将来の希望や夢をもてたりすることができるよう指導していきます。

一人1台タブレット配付により、児童にとって、タブレットは学習道具の一つになっています。学習に利用するための活用の仕方や自分で使い方をコントロールできる指導を繰り返し行いながら、家庭学習でもうまく活用できるよう、見届けていきます。

家庭学習においては、自主学習等を取り入れながら、自分で計画を立てて学習に取り組んだり、自分で内容を決めたりできる力を高めていきます。引き続き、ご家庭でも基本的な生活習慣を大切にしながら、お子さんの頑張りを認め、励ましていただきますようお願いいたします。